



12/14 水



小学生が『占冠神楽』を体験

郷土芸能に触れ、楽しさを体感

占冠中央小学校の3・4年生を対象に村の郷土芸能である『占冠神楽』の授業が行われました。

児童らは、占冠神楽保存会の皆さんから指導を受け、演目である「大蛇（おろち）」の舞（振り付け）や楽（楽器演奏）を体験しました。大蛇の衣装は重くて動くのも大変だったようですが、終始笑顔で楽しみながら取り組む姿が見られました。

12/10 土



本格手打ちそば教室を開催

そば打ちの奥深さや魅力に触れる

コミュニティプラザで開催された「手打ちそば教室」に9人が参加し、講師の松浦博さん（字中央）指導の下、本格的なそば打ちに挑戦しました。基本となる「水回し」では、水とそば粉がうまくなじまず苦労している場面も。それでも、講師の手を借りながら全員無事にそばを切るところまで行うことができ、そば打ちの奥深さを味わうことができ満足している様子でした。

11/25 金



社会教育の振興に大きく貢献 二階堂敏彦さんが表彰

社会教育の振興に貢献した功績が認められ、占冠村社会教育委員である二階堂敏彦さん（字中央）が上川管内社会教育委員連絡協議会表彰者として表彰されました。二階堂さんは、平成23年10月に社会教育委員に就任され、2度にわたって村の社会教育中期計画の策定に携わった他、数々の社会教育活動に尽力されました。この度の表彰誠にありがとうございます。

11/21~22 月火



いざというとき、身近な人を救えるように 救命講習で万が一に備える

11月21日にトマム地区、22日に中央地区で救命講習（救命入門コース）が開催されました。コロナ禍の影響で約2年ぶりの開催となった今回、消防職員と応急手当普及員の資格を持つ消防団員2人が講師となり、トマム・中央合わせて参加した7人が心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）を使用した実技指導を受け、応急手当の知識と技術を学びました。

12/16 金



河淵悦司さん、赤平正淑さんが叙勲を受章 叙勲伝達式で偉業をたたえる

富良野消防署占冠支署において「令和4年秋の叙勲及び第39回危険業務従事者叙勲伝達式」が執り行われ、叙勲受章者の河淵悦司さん（字中央）、赤平正淑さん（千歳市）に対し、上川総合振興局 吉田副局長（北海道知事代理）より伝達が行われました。

河淵さんは、昭和57年5月に占冠消防団に入団し、平成26年10月に消防団長に就任。令和4年3月までの約40年間にわたって地域の安全安心のために尽力された功績が認められ、令和4年11月3日に『端宝単光章』を受章されました。

赤平さんは、昭和54年10月に消防士を拝命し、占冠支署長を経て平成29年4月に消防司令長に昇進するとともに富良野消防署長に就任。消防職員の先頭に立ち、署長としての重責を見事に果たされたその功績が認められ、同じく11月3日に『端宝双光章』を受章されました。

お二人の永年にわたる消防防災活動への多大な貢献に対する功績が認められ、この度栄えある叙勲を受章されたことに対し心よりお祝い申し上げます。

12/9 金



これからも安全運転をお願いします 交通事故死ゼロ500日を達成

交通事故死ゼロ500日の達成に伴い、公益社団法人北海道交通安全推進委員会（勝木紀昭会長）より、占冠村交通安全協会 夏井忠之会長へ表彰状が伝達されました。

夏井会長からは「地域住民の皆さまをはじめ、占冠駐在所や交通指導員の皆さまのご協力のおかげです。」と感謝の意が述べられました。

12/7~8 水木



保健福祉センターの天井をきれいに 地域貢献事業に感謝いたします

株式会社川端組（馬瀬戸祐則代表取締役）が、地域貢献事業として占冠村保健福祉センター『ノンノ』の天井の一部張り替えを実施しました。雨漏り等によりシミや汚れが付着していた箇所がきれいになり、気持ちの良い環境で利用者を迎えることができました。作業して下さった川端組様、誠にありがとうございました。